



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 駒田 達彦 TEL 03-3662-1638  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	122,005	0.1	2,635	△64.6	3,373	△59.4	2,007	△67.4
2022年3月期	121,933	—	7,446	51.3	8,315	48.1	6,166	△2.8

(注) 包括利益 2023年3月期 5,343百万円 (△34.9%) 2022年3月期 8,210百万円 (△10.4%)

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、上記の連結経営成績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前連結会計年度との増減率は記載しておりません。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	108.58	—	1.8	1.7	2.2
2022年3月期	333.70	—	5.9	4.2	6.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 △27百万円 2022年3月期 181百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	192,765	114,301	58.1	6,060.11
2022年3月期	196,709	110,487	55.1	5,868.51

(参考) 自己資本 2023年3月期 112,058百万円 2022年3月期 108,447百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	3,002	△2,195	△3,836	23,103
2022年3月期	7,579	△6,643	△11,424	24,879

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	1,479	24.0	1.4
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	1,479	73.7	1.3
2024年3月期 (予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		34.4	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	63,500	2.3	2,400	33.9	2,700	9.9	2,500	54.2	135.20
通期	128,000	4.9	5,200	97.3	5,600	66.0	4,300	114.2	232.54

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	18,613,110株	2022年3月期	18,613,110株
2023年3月期	122,030株	2022年3月期	133,494株
2023年3月期	18,488,205株	2022年3月期	18,478,128株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	97,726	△1.6	△1,226	—	1,886	△62.9	1,892	△59.2
2022年3月期	99,277	—	1,873	51.2	5,085	70.1	4,637	66.3

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、上記の個別経営成績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前事業年度との増減率は記載しておりません。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	102.35	—
2022年3月期	250.99	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	133,027	63,265	47.6	3,421.40
2022年3月期	137,171	63,039	46.0	3,411.33

(参考) 自己資本 2023年3月期 63,265百万円 2022年3月期 63,039百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

・当社は以下のとおり決算説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する資料等については、前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

日時：2023年6月8日(木)

概要：機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(収益認識関係) .....	16
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和により経済活動が活発化する一方、ロシアによるウクライナ侵攻長期化等の影響による原材料価格高止まり及びインフレ進行により景気は不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、2年目となる中期経営計画の基本戦略として「技術主導による競争優位性の確保」「サステナブル社会の実現に向けたESG重視の経営推進」「事業基盤の強化のための海外事業の拡大」に基づく施策を引き続き推進しました。

当社グループの主要な販売先である輸送業界の自動車向けは半導体等の部品不足等による生産調整及びサプライチェーン上の在庫調整の影響により、また、情報電子業界の液晶ディスプレイ向けは、コロナ禍の巣ごもり需要の反動減等により低迷しました。一方、包装業界向けのインキ及び着色剤は、人流の活発化等により堅調に推移しました。この結果、売上高は、販売価格の見直しを進めたこともあり、1,220億5百万円(前年同期比0.1%増)と増収になりました。

一方、営業利益は、販売価格の見直しを進めましたが、原材料価格高止まりの影響を受け26億3千5百万円(同64.6%減)、経常利益は、33億7千3百万円(同59.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に政策保有株式売却による投資有価証券売却益を計上しましたが、特別損失に固定資産の減損損失を計上した結果、20億7百万円(同67.4%減)とそれぞれ減益になりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

#### (カラー&ファンクショナル プロダクト)

当事業は、顔料・繊維用着色剤・プラスチック用着色剤・コンパウンド・顔料分散体・機能性材料の製造・販売を行っております。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、オフィス事務機器用途は回復が続きましたが、ディスプレイ用途は、液晶パネルの在庫調整及び巣ごもり需要の減少により低調となりました。家電OA機器及び車両業界向けのコンパウンド・着色剤の売上高は、国内は半導体不足等による自動車生産低迷により低調となりましたが、海外は、東南アジア・インドが好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、672億8百万円(同4.3%減)と減収になり、営業利益は20億5百万円(同59.3%減)と減益になりました。

#### (ポリマー&コーティング マテリアル)

当事業は、UV・EBコート剤・ウレタン樹脂・天然物由来高分子の製造・販売を行っております。

ウレタン樹脂の売上高は、主要販売先の在庫調整等により車両業界向け、衣料品・服飾品業界向け等全般的に低調に推移しました。情報電子業界の液晶ディスプレイ向けのコーティング剤は、巣ごもり需要の減少等により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、236億4千9百万円(同0.2%増)と増収になりましたが、営業利益は19億7千6百万円(同40.2%減)と減益になりました。

#### (グラフィック&プリンティング マテリアル)

当事業は、グラビアインキ・オフセットインキの製造・販売を行っております。

包装業界向けのグラビアインキは、国内は飲料ラベル用途等が堅調に推移しました。海外は、インドネシア子会社でコロナ鎮静化により大幅に増収となりました。オフセットインキは、需要減少により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は310億7千1百万円(同10.9%増)と増収になりましたが、原材料価格の高止まり及び新工場移転費用の計上により、13億6千2百万円の営業損失(前年同期は8億2千5百万円の営業損失)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は1,927億6千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ39億4千3百万円減少しました。これは主に「売掛金」及び「現金及び預金」が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は784億6千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ77億5千8百万円減少しました。これは主に「支払手形及び買掛金」及び「有利子負債」が減少したことによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,143億1百万円となり、前連結会計年度末と比べ38億1千4百万円増加しました。これは主に「為替換算調整勘定」が増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億7千5百万円減少し、231億3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりとなっております。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、30億2百万円（前年同期比60.4%減）となりました。これは主に「減価償却費」及び「税金等調整前当期純利益」を計上した一方、「仕入債務」が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、21億9千5百万円（前年同期比67.0%減）となりました。これは主に「有形固定資産の取得による支出」として支出したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、38億3千6百万円（前年同期比66.4%減）となりました。これは主に借入金の返済及び配当金の支払いにより支出したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社グループは、化学業界において川中に位置し、車両・情報電子・建築資材・産業資材・包装パッケージ等の多様な業界に製品供給しております。

売上高は、販売先業界におけるサプライチェーン上の生産調整の影響を注視する必要がありますが、主要な販売先業界である車両業界の自動車向け、情報電子業界の液晶ディスプレイ向けは、本格的には下期からの回復を想定しております。また、人流の増加、インバウンド需要の増加により包装・パッケージ業界向けが堅調に推移するものと見込んでおります。

利益面では、原材料価格は一時期に比べて一服したものの、燃料、電気等のユーティリティ費用の増加を想定しております。当社グループでは、こうした事業環境のもとで、引き続き事業の拡大、高付加価値製品の拡販、販売価格の改訂に努める所存であります。

次期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりを予想しております。

(想定為替レート ドル135円 ユーロ145円)

(想定ナフサ価格 72,000円)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第2四半期	63,500	2.3	2,400	33.9	2,700	9.9	2,500	54.2
2024年3月期	128,000	4.9	5,200	97.3	5,600	66.0	4,300	114.2

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり40.0円とし、中間配当金を加えた年間配当金は1株当たり80.0円とさせていただきます予定です。

また、次期の配当は、中間配当・期末配当は1株当たりそれぞれ40.0円とし、年間配当金は80.0円とさせていただきます予定です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,346	24,756
受取手形	10,570	10,859
売掛金	40,968	38,493
商品及び製品	18,926	20,740
仕掛品	843	754
原材料及び貯蔵品	11,944	12,499
その他	1,823	2,219
貸倒引当金	△80	△79
流動資産合計	111,343	110,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,514	51,819
減価償却累計額	△29,061	△30,367
建物及び構築物 (純額)	21,452	21,451
機械装置及び運搬具	57,749	58,617
減価償却累計額	△45,154	△47,406
機械装置及び運搬具 (純額)	12,594	11,210
工具、器具及び備品	11,662	12,173
減価償却累計額	△9,583	△10,067
工具、器具及び備品 (純額)	2,079	2,105
土地	14,013	13,871
リース資産	1,095	1,053
減価償却累計額	△700	△670
リース資産 (純額)	395	382
建設仮勘定	1,812	752
有形固定資産合計	52,348	49,774
無形固定資産		
その他	1,911	1,394
無形固定資産合計	1,911	1,394
投資その他の資産		
投資有価証券	18,568	18,018
出資金	486	283
繰延税金資産	359	366
退職給付に係る資産	9,414	10,492
その他	2,298	2,207
貸倒引当金	△21	△15
投資その他の資産合計	31,106	31,353
固定資産合計	85,366	82,522
資産合計	196,709	192,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,939	28,771
短期借入金	11,460	12,431
1年内返済予定の長期借入金	6,918	5,502
リース債務	192	236
未払法人税等	1,495	548
賞与引当金	2,047	1,661
関係会社整理損失引当金	8	—
環境対策引当金	31	13
その他	5,359	4,375
流動負債合計	59,452	53,539
固定負債		
長期借入金	13,882	12,507
リース債務	461	321
繰延税金負債	630	963
環境対策引当金	2,981	2,967
退職給付に係る負債	8,281	7,619
その他	532	544
固定負債合計	26,769	24,924
負債合計	86,222	78,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,773	9,768
利益剰余金	81,265	81,791
自己株式	△315	△287
株主資本合計	100,763	101,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,435	6,113
為替換算調整勘定	592	3,201
退職給付に係る調整累計額	656	1,431
その他の包括利益累計額合計	7,684	10,745
非支配株主持分	2,039	2,243
純資産合計	110,487	114,301
負債純資産合計	196,709	192,765

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	121,933	122,005
売上原価	96,271	100,697
売上総利益	25,661	21,307
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,548	3,479
貸倒引当金繰入額	8	4
給料及び手当	5,443	5,558
賞与引当金繰入額	765	658
退職給付費用	463	328
その他	7,985	8,641
販売費及び一般管理費合計	18,214	18,671
営業利益	7,446	2,635
営業外収益		
受取利息	88	147
受取配当金	371	445
持分法による投資利益	181	—
保険配当金	132	152
その他	614	511
営業外収益合計	1,388	1,257
営業外費用		
支払利息	339	290
持分法による投資損失	—	27
固定資産賃貸費用	77	55
その他	102	145
営業外費用合計	520	519
経常利益	8,315	3,373
特別利益		
固定資産売却益	38	46
投資有価証券売却益	378	1,629
補助金収入	—	113
その他	7	1
特別利益合計	424	1,790
特別損失		
減損損失	8	1,748
固定資産除却損	143	154
新型コロナウイルス感染症による損失	—	115
その他	19	158
特別損失合計	170	2,177
税金等調整前当期純利益	8,569	2,986
法人税、住民税及び事業税	2,483	819
法人税等調整額	△270	91
法人税等合計	2,212	910
当期純利益	6,356	2,076
非支配株主に帰属する当期純利益	190	68
親会社株主に帰属する当期純利益	6,166	2,007

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	6,356	2,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,596	△315
為替換算調整勘定	2,486	2,610
退職給付に係る調整額	806	774
持分法適用会社に対する持分相当額	157	197
その他の包括利益合計	1,853	3,266
包括利益	8,210	5,343
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,826	5,069
非支配株主に係る包括利益	383	274

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,772	76,392	△330	95,875
当期変動額					
剰余金の配当			△1,293		△1,293
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,166		6,166
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		16	16
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	4,872	15	4,888
当期末残高	10,039	9,773	81,265	△315	100,763

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	8,046	△1,875	△147	6,023	1,761	103,660
当期変動額						
剰余金の配当						△1,293
親会社株主に帰属する 当期純利益						6,166
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						16
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△1,610	2,467	803	1,660	278	1,938
当期変動額合計	△1,610	2,467	803	1,660	278	6,826
当期末残高	6,435	592	656	7,684	2,039	110,487

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,773	81,265	△315	100,763
当期変動額					
剰余金の配当			△1,478		△1,478
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,007		2,007
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△4	△2	27	20
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△4	525	27	548
当期末残高	10,039	9,768	81,791	△287	101,312

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,435	592	656	7,684	2,039	110,487
当期変動額						
剰余金の配当						△1,478
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,007
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						20
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△321	2,608	774	3,061	203	3,265
当期変動額合計	△321	2,608	774	3,061	203	3,814
当期末残高	6,113	3,201	1,431	10,745	2,243	114,301

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,569	2,986
減価償却費	5,276	5,592
減損損失	8	1,748
株式報酬費用	12	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	254	△391
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△11
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△114	△31
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△24	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△157	△659
受取利息及び受取配当金	△459	△593
支払利息	339	290
為替差損益 (△は益)	53	63
持分法による投資損益 (△は益)	△181	27
持分法適用会社からの配当金の受取額	67	90
投資有価証券売却損益 (△は益)	△374	△1,603
有形固定資産売却損益 (△は益)	△29	△44
有形固定資産除却損	143	154
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,056	3,022
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,135	△1,314
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,701	△4,171
その他	△46	37
小計	9,856	5,205
利息及び配当金の受取額	459	592
利息の支払額	△345	△301
法人税等の支払額	△2,390	△2,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,579	3,002
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,467	△1,652
定期預金の払戻による収入	2,212	1,467
有形固定資産の取得による支出	△7,606	△5,109
有形固定資産の売却による収入	44	933
無形固定資産の取得による支出	△225	△135
投資有価証券の取得による支出	△42	△29
投資有価証券の売却による収入	520	2,007
貸付けによる支出	△6	△19
貸付金の回収による収入	8	15
その他	△79	327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,643	△2,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,444	2,543
短期借入金の返済による支出	△3,751	△1,813
長期借入れによる収入	—	4,500
長期借入金の返済による支出	△8,451	△7,315
リース債務の返済による支出	△267	△201
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,293	△1,478
非支配株主への配当金の支払額	△105	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,424	△3,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	929	1,254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,559	△1,775
現金及び現金同等物の期首残高	34,438	24,879
現金及び現金同等物の期末残高	24,879	23,103

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ハイテクと色彩科学の総合メーカーとして、国内外で色彩に関わる各種製品の製造及び販売、またその他付帯する事業を展開しております。

このため、当社グループでは製品を基礎とした製品別の「カラー&ファンクショナル プロダクト」、「ポリマー&コーティング マテリアル」及び「グラフィック&プリンティング マテリアル」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品・サービス
カラー&ファンクショナル プロダクト	顔料、繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、コンパウンド、 顔料分散体、機能性材料
ポリマー&コーティング マテリアル	UV・EBコート剤、ウレタン樹脂、天然物由来高分子
グラフィック&プリンティング マテリアル	グラビアインキ、オフセットインキ

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	70,232	23,603	28,016	121,852	80	121,933
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	122	406	—	528	(528)	—
計	70,355	24,010	28,016	122,381	(448)	121,933
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	4,929	3,307	△825	7,412	34	7,446

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	67,208	23,649	31,071	121,929	75	122,005
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	134	453	—	587	(587)	—
計	67,342	24,102	31,071	122,516	(511)	122,005
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,005	1,976	△1,362	2,618	16	2,635

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

## 4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

&lt;地域別&gt;&lt;契約別&gt;

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	50,700	17,335	21,570	89,605	80	89,686
アジア	14,805	3,568	6,038	24,412	—	24,412
その他	4,727	2,700	407	7,834	—	7,834
計	70,232	23,603	28,016	121,852	80	121,933
顧客との契約から 生じる収益	70,232	23,603	28,016	121,852	47	121,900
その他の収益	—	—	—	—	32	32
外部顧客への売上高	70,232	23,603	28,016	121,852	80	121,933

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	48,660	17,273	22,775	88,709	75	88,785
アジア	14,835	3,525	7,735	26,096	—	26,096
その他	3,712	2,850	560	7,123	—	7,123
計	67,208	23,649	31,071	121,929	75	122,005
顧客との契約から 生じる収益	67,208	23,649	31,071	121,929	44	121,974
その他の収益	—	—	—	—	31	31
外部顧客への売上高	67,208	23,649	31,071	121,929	75	122,005

## &lt;有償受給取引による売上高への影響額&gt;

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	116,279	23,667	28,021	167,968	80	168,049
有償受給取引による 売上相殺額	△46,046	△64	△5	△46,115	—	△46,115
外部顧客への売上高 (純額)	70,232	23,603	28,016	121,852	80	121,933

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	連結損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	114,366	23,710	31,076	169,154	75	169,229
有償受給取引による 売上相殺額	△47,158	△61	△5	△47,224	—	△47,224
外部顧客への売上高 (純額)	67,208	23,649	31,071	121,929	75	122,005

## 5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	その他	合計
減損損失	—	7	1,741	—	1,748

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,868円51銭	1株当たり純資産額	6,060円11銭
1株当たり当期純利益	333円70銭	1株当たり当期純利益	108円58銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	110,487	114,301
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	2,039	2,243
(うち非支配株主持分 (百万円))	(2,039)	(2,243)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	108,447	112,058
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	18,479	18,491

## 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	6,166	2,007
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	6,166	2,007
普通株式の期中平均株式数 (千株)	18,478	18,488

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。